会員名:磯辺63自治会花を育てる会
住所:千葉市美浜区磯辺4－15－5(自治会館)　、 会員の戸数　240戸

数名の参加との予想に反し24名以上の方の参加で、訪問させていただいたお宅も7軒になりました。
予めいただいた質問に対し先生の方で「杏子とウメの不結実の原因」「花木の剪定」「草花の切り戻し」等の資料を用意いただいて、自治会館内での質疑の後、希望されるお宅の庭などの樹木診断を実施しました。

質疑の内容(要約)

・杏子が咲かない件について
咲いているお宅もあり、10年目ごろから咲いた
というお宅もあるので時間がかかるかもしれない。

接ぎ木も一つの手段。

花芽分化時に水が多いと花芽にならず葉になるので、水のやり方は注意する必要あり。

・杏子の花は咲くが実がならなう件について
杏は自家結実性ですが違う品種があると格段によく実がなるとのこと。
用意された「杏子とウメの不結実の原因」を参考にしてください。

・夏みかんが昨年はたくさんなったが、今年は葉を落としている。
身を守るための自然現象と思われる。一度に花を咲かせたり実を実らせると樹木が疲労するので、
間引き剪定がおすすめ。

・ツゲ(イヌツゲ)が35年ぐらいなるが、ここ4～5年で枯れたきた。
ツゲは残根性なので、根に問題がある可能性があり。あるいは、枝枯れも可能性もある。
土あげしたが枯れてしまったとの報告もあったが、土あげ処理時の根回しの問題もあったかもしれない。

・サツキが部分的に枯れてきている
一般的には水枯れが多い(サツキは水を欲しがる)

・サルスベリを剪定したら花が咲かなかった。
剪定の時期の問題もあるかもしれない。
サルスベリは他の花木と違い初夏に花芽ができ秋に咲く(花芽ができてから咲くまでの期間が短い)。

・花木の剪定の基本は、花後剪定。(花芽がつく前では遅い)

・カイガラムシについて
カイガラムシは、酒類が多い。カイガラムシ図鑑として一冊の本になている。
←クリック
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会　の　以下のサイトは参考になる。
JATAFF:Japan Association for Techno-innovation in Agriculture, Forestry and Fisheries
樹木の害虫「カイガラムシ」 https://www.jataff.jp/kaigara/index.htm

カイガラムシの駆除について、物理的のそぎ落としていく方法の他、カイガラムシスプレー
「マシン油乳剤」で窒息死させる。
(貝殻虫はロウで体を保護しているので薬剤が効きにくいが「マシン油乳剤」は周りについて窒息死させる)

・薬残散布の基本 「病気は前／虫は後」
病気は予防薬が効果的、病気発生後に散布を繰り返すと耐性ができることがある。

問合先_Email:c.ryokkasuisin@gmail.com

各戸での樹木診断

葉の病気について
相談あり。

↑
イペー　沖縄などで見られる珍しい木
春に白い花が咲くとのこと

ヤマボウシ　花が咲かないとのこと。
剪定の問題の可能性あり。

ハナミズキ　具体的な剪定のアドバイス

低木の手入れのアドバイス

←シラカンバ
の　カミキリムシ
駆除のアドバイス

ロビンフッド　という薬剤あり。

問合先_Email:c.ryokkasuisin@gmail.com

モチノキ　の葉が黒くなる現象についてアドバイス

タイワントガリキジラミ の形跡あり。

「タイワントガリキギラミ」が原因です。
↑
富里市農業指導連絡協議会の報告ご参照。

春先にアブラムシ類の防除を行うことで発生を防いでいる事例がある。

鳥が運んできた、 ピラカンサ や
トウネズミモチ も散見された。
（トウネズミモチは、要注意外来生物に指定されています）

ツゲ
根に問題がある可能性あり。

モッコク
からみ枝の剪定などのアドバイスあり。

サルスベリ
枝の途中からの剪定をおすすめ。
様子をみて剪定しない年もあってもよい。

問合先_Email:c.ryokkasuisin@gmail.com